

千年の森便り No.251

2024.11.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

11月17日（日）天候 曇り

11月も後半に入った豊英島は、コナラの葉が黄色くなって落葉が始まり、林内が少し明るくなっていました。活動日の直前まで天気予報が雨になったり曇りになったりとお天気が心配でしたが、雨に降られることなく、予定していた物置の屋根の補修作業やナラ枯れによる危険木の伐採作業などを終えることができました。危険木の伐採作業では、セブン・イレブン記念財団の活動助成金で購入したポータブルロープウィンチ、電動チェーンソー、トビ、チャップスなどが大活躍しました。



今回の活動の目玉となったのは、実は先月の秋の

きのご観察会では見られなかったきのこ！直径が 30cm 以上もある大きなコウタケが何本も出ていてみんなびっくりでした。普通なら 10 月に発生するものが、1 か月も過ぎたこの時期に出てくるとは……。詳しくは、発見した村野さんの記事をご覧ください。

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、坂本、竹下、成沢、福島、村野の会員 9 名と、体験参加の片野さんの計 10 名でした。ご参加いただいたみなさま、お疲れさまでした。また、坂本さんには畑で採れた里芋をお土産にご提供いただきました。ありがとうございました。（福島）

〇枯損木の伐倒作業

ナラ枯れの被害による枯損木を、午前と午後に合わせて 6 本伐倒しました。

島内では一部で落葉が進んでいて、枯損木が目立ちにくくなっていましたが、以前に選木したテープがあったので容易に見つけることができました。

作業にあたっては、毎回ロープをセットして、いつでもウインチで引けるようにしてから追いつる切りで伐倒しました。その結果、十分に待避することができただけでなく、掛かり木が発生した際にも迅速に処理をすることができ、大変良かったと思います。また、今年度の助成で購入したバッテリーチェーンソーやロープなどの資機材も大活躍でした。

せっかくの装備も活用しなければ宝の持ち腐れなので、引き続き安全第一で技術向上に努めていきたいと思えます。ご安全に！（竹下）



2 又のコナラ的一方を伐採



受け口を作り腐朽状況を確認



追いつる伐りで伐採



滑車を使って 3 倍力で牽引

○出たよ！出たよ！コウタケが沢山！

物置の屋根に土嚢を積むのが午前中の作業です。作業が終わって昼食まで多少時間があったので、温暖化の影響でまだきのこも出ているのではないかと思い、広場の近くを見歩きしました。

一番目立つのは橙色のアカモミタケ。例年ウラベニホテイシメジ、バカマツタケ等注目されるきのこが終わった後に、まだ終わっていないよと顔を出すきのこです。広場のテーブルにアカモミタケのほかにもフウセンタケの仲間、ナラタケ、ハナヒラニカワタケ、ウスヒラタケ、ニガクリタケ、アカヤマタケの仲間など、例年だと10月に見られるきのこも並んでいます。これで終わりかと思いながら、ひょっとしたら、と淡い期待をしながらホテイ竹林に向かいました。途中にはクロラッパタケなども見られ、バカマツタケの以前出たところも丹念に探してみました。多くはないものの、名もわからないきのこもみられました。ホテイ竹林に近付いてネット越しを見ると、黒褐色の塊があるのに気が付き、じっと見ると・・・まだ出てから間もないコウタケがあちこちに見られます。久しぶりのコウタケなので、写真を撮ったりしてもらおうと何も手を付けず、そのまま広場に戻りました。

ナラ枯れのコナラの伐採の作業が済んでから、皆でホテイ竹林に久しぶりの、それも今日出てきたばかりのようなコウタケを見に行きました。何年振りでしょうか。聞くと、森さんの娘さんの笑顔とコウタケの大きさを比較した「豊英島の自然」の写真（便り No.65、2008年）から、もうすでに16年経っているとのこと。やはり、コウタケは幻のきのこですね。

コウタケの近くにはハエトリシメジもみられました。10月のきのこ観察会に参加した人の中には、コウタケを見たいと言う人が何人もいました。残念でした。期待して行くと見られなくて、予期しない時に会うのは良くあること。また来年のきのこ観察会に参加してください。見られるかもしれませんが、また15年後かもしれません。（村野）



巨大なコウタケ



みんなでコウタケを観察



コウタケを撮影している坂本さん



ほかにもきのこがいろいろ

○11月の植物たち

千年広場で本日の全体活動を確認し、いつものようにコナラ伐採地に入りました。保護柵内の低木草地区域は、足の踏み場もないほど多種の植物がはびこり、移動を困難にしている状況です。植物を保護し生長を促すため伐開・除草を控えているためです。今日は柄の長い鎌で幅50cmほどの通路をつくりました。刈った草木はその場所に放置し、次回の活動日に保護柵外に搬出したいと思っています。



色づき始めたコナラ伐採地



サルトリイバラ



トキリマメ



リンドウ



アキバギク



キッコウハグマ



コウヤボウキ



リュウノウギク

保護柵内ではサルトリイバラ、トキリマメ、リンドウ、コウヤボウキ、アキバギクが確認できました。ヤマウルシ、ヌルデは色づき始め季節変わりを実感します。保護柵外で大きな株となって見ごろの花をつけていたのはリュウノウギクとコウヤボウキです。リュウノウギクは保護柵内でよく見られていましたが、今回は保護柵外の個体が花を多くつけ華やかに見えました。保護柵内の生存競争が高まったこと、ナラ枯れ等で林床の明るさが増したことが関係しているのかもしれませんが。日当たり良好で他の植物と競争の少ない場所に進出したように思えます。ニシキギ（コマユミ？）は、ホテイ岬の岸辺にあり色づいた葉と赤い実がいい感じで湖面に張り出ていました。中間地点付近の薄明りの林床で3個のつぼみをつけたキッコウハグマ1株を見つけました。ひょっとしたら12月の活動日に花が見られるかもしれません。楽しみにしています。（秋元）

○生物多様性保全の森林づくりの素晴らしさと大変さを感じました （体験参加の片野裕之さん）

ちば千年の森をつくる会に体験参加しました。豊英島を訪れたのは初めてですが、島の独特な地形、美しい風景、豊かな森林に驚きました。

体験作業は、数年前から猛威を振るうナラ枯れによる枯死木の伐採。熟練したメンバーの方々が中心となり、ロープワークを使って伐倒作業を行いましたが、かかり木になったり、根元から倒れたり、倒れる途中に空中で木が2つに折れたり、伐採作業の危険性を身をもって知りました。

森林内には氷河時代の名残りのモミやツガ、実生から育っているたくさんの稚樹、初めて見るホテイチクや香茸など多くの生物が見られ生物多様性保全の森林づくりの素晴らしさと大変さを感じました。

豊かな森林と素敵なメンバーの方々に囲まれてあっという間に時間が過ぎてしまいましたが。機会があればまた訪れたいと思います。ありがとうございました。

○活動の状況などいろいろ



豊英島は秋色



ナラ枯れで枯れたコナラと紅葉



活動開始前に自己紹介



ベニタケの仲間



クロラッパタケ



青いきのこ



青いきのこの傘裏



ホウキタケの仲間



ニガクリタケ



ハナビラニカワタケ



キチチタケ？



ヒメサクラシメジ

○きのこリスト

10月14日の秋のきのこ観察会で記録されたきのこのリスト(吹春先生分)を5ページ以降に掲載しました。

○センサーカメラの動物たち

10月14日から11月17日までの35日間の記録です。CAM3については、電池切れのため10月19日以降の記録がなく5日間の記録です。

記録されていた動物はキョンが圧倒的に多く、CAM1で35日中32日とほぼ毎日、CAM2で35日中11日日記録されていました。記録が2日以上あったのは、CAM1でタヌキ、アナグマ、ハクビシン、テン、CAM2でイノシシ、ハクビシンでした。ほかには、キジ、トラツグミ、アライグマが記録されていました。また、同時に撮影された個体数は、キョンがオス1、メスOR幼獣2の3頭、タヌキが2頭でした。

ニホンジカについては今回も記録がなく、島を利用する個体がいなくなった可能性があります。(福島)

- 設置期間：CAM1、2：10月14日～11月17日(35日間)、CAM3：10月14日～10月18日(5日間)
- 設置場所：CAM1(つり橋着岸点付近)、CAM2(ホテイ岬への分岐点付近)、CAM3(ホテイ岬先端付近)
- 日数は記録された日数で、同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1 キョン32日、タヌキ14日、アナグマ11日、ハクビシン2日、テン2日、キジ1日、
トラツグミ1日

CAM2 キョン11日、イノシシ3日、ハクビシン3日、アナグマ1日、アライグマ1日

CAM3 カケス1日



キョン (オス)



タヌキ



アナグマ

お知らせ

○次回の定例活動は**12月8日(日)**です。

当初計画では、次回は12月1日(日)となっていましたが、12月8日(日)に日程を変更します。

お間違いのないようにお願いします。

活動内容は、ニホンジカ生息状況調査、紅葉散策、危険木伐採、ロープワーク研修、樹名板づくりなどです。

(ロープを使った木登り体験は難しいかも)

島に入る際は、ヤマビル、ダニ対策と、安全のためにヘルメット着用を忘れずに!

ご参加をよろしくお願いします。

〇きのこリスト（10月14日の秋のきのこ観察会、吹春先生分です）

- 担子菌類
- ◆Agaricales ハラタケ目
- Agaricaceae ハラタケ科
 - ・Agaricus sp.ハラタケ属
 - ・Leucoagaricus アカキツネガサ類似種
 - ・Macrolepiota procera カラカサタケ
 - ・Lepiota sp.キツネノカラカサ属
- Amanitaceae テングタケ科
 - ・Amanita cheelii オオツルタケ
 - ・Amanita fulva カバイロツルタケ
 - ・Amanita pseudoporphyri コテングタケモドキ
 - ・Amanita satotamagotake サトタマゴタケ
 - ・Amanita vaginata ツルタケ
 - ・Amanita virosa ドクツルタケ
 - ・Amanita sp.（現地で「変形したシロオニタケ？」としたもの）[FB-48503]
 - ・Amanitasp.フクロツルタケ（広義）
- Callistosporiaceae ヒメキシメジ科
 - ・Callistosporium luteo-olivaceum ヒメキシメジ
- Clavariaceae シロソウメンタケ科
 - ・Clavaria fragilis シロソウメンタケ
- Clitocybaceae カヤタケ科
 - ・Singerocybe alboinfundibuliformis ユキラツパタケ
- Cortinariaceae フウセンタケ科
 - ・Cortinarius sp.フウセンタケ属
- Entolomataceae イッポンシメジ科
 - ・Entoloma murrayi キイボカサタケ[FB-48495]
 - ・Entoloma sp.イッポンシメジ属
- Hydnangiaceae ヒドナンギウム科
 - ・Laccaria sp.キツネタケ属
- Hygrophoraceae ヌメリガサ科
 - ・Hygrocybe sp.アカヤマタケ属
- Hymenogastraceae ヒメノガステル科
 - ・Gymnopilus aeruginosus ミドリスギタケ
 - ・Gymnopilus sp.チャツムタケ属
- Inocybaceae アセタケ科
 - ・Inocybe sp.アセタケ属
- Lycoperdaceae ホコリタケ科
 - ・Calvatia craniiformis ノウタケ
 - ・Lycoperdon nigrescens クロホコリタケ
 - ・Lycoperdon perlatum ホコリタケ
- Marasmiaceae ホウライタケ科
 - ・Marasmius sp.ホウライタケ属
- Mycenaceae クヌギタケ科
 - ・Mycena haematopus チシオタケ[FB-48508]
 - ・Mycena pura サクラタケ
 - ・Panellus stipticus ワサビタケ
 - ・Xeromphalina sp.ヒメカバイロタケ属
- Omphalotaceae ツキヨタケ科
 - ・Lentinula edodes シイタケ
 - ・Rhodocollybia sp.アカアザタケ属
 - ・Gymnopus neofusipes アカチャツエタケ[FB-48506]
- Physalacriaceae タマバリタケ科
 - ・Cyptotrama asprata ダイダイガサ
 - ・Desarmillaria tabescens ナラタケモドキ
 - ・Hymenopellis sp.ツエタケ属[FB-48500]
 - ・Xerula sinopudens コブリビロードツエタケ
- Pleurotaceae ヒラタケ科
 - ・Pleurotus djamor トキイロヒラタケ[FB-48510]
 - ・Pleurotus pulmonarius ウスヒラタケ
- Pluteaceae ウラベニガサ科
 - ・Pluteus sp.ウラベニガサ属
- Porotheleaceae ポロテレウム科
 - ・Henningomyces candidus パイプタケ
 - ・Porotheleum fimbriatum ポロテレウム・フィンブリアタム（日本新産？）
- Psathyrellaceae ナヨタケ科
 - ・Candolleomyces candolleanus イタチタケ
 - ・Coprinopsis insignis ミヤマザラミヒトヨタケ[FB-48498]
 - ・Cystoagaricus strobilomyces クロヒメオニタケ[FB-48509]
 - ・Lacrymaria lacrymabunda ムジナタケ
 - ・Psathyrella sp.ナヨタケ属
- Strophariaceae モエギタケ科
 - ・Hypholoma fasciculare ニガクリタケ（広義）[FB-48505]
 - ・Hypholoma ニガクリタケ属[FB-48499]
- Tubariaceae チャムクエタケ科
 - ・Cyclocybe erebia ツチナメコ
- Tubariaceae クダホコリ科
 - ・Flammulaster erinaceellus ヒメスギタケ
- Tricholomataceae キシメジ科
 - ・Tricholoma saponaceum ミネシメジ[FB-48502]

◆Boletales イグチ目

○Boletaceae イグチ科

- Boletellus sp.キクバナイグチ (広義)
 - Boletus reticulatus ヤマドリタケモドキ
 - Boletus sp.ヤマドリタケ属
 - Phylloporus bellus キヒダタケ
 - Rugiboletus extremiorientalis アカヤマドリ
 - Tylopilus sp.ニガイグチ属
- Tapinellaceae イチョウタケ科
- Tapinella atrotomentosa ニワタケ[FB-48497]

◆Russulales ベニタケ目

○Auriscalpiaceae マツカサタケ科

- Lentinellus ursinus イタチナミハタケ

○Russulaceae ベニタケ科

- Russula spp.ベニタケ属
- Stereaceae ウロコタケ科
- Stereum gausapatum チウロコタケ
 - Stereum ostrea チャウロコタケ
 - Xylobolus spectabilis モミジウロコタケ

◆Corticiales コウヤクタケ目

○Punctulariaceae プンクツラリア科

- Punctularia strigosozonata ケシワウロコタケ

◆Thelephorales イボタケ目

○Thelephoraceae イボタケ科,

- Thelephora sp.イボタケ属
- Tomentella spp.ラシヤタケ属

○Bankeraceae マツバハリタケ科

- Hydnellum scabrosum ケロウジ

◆Polyporales タマチョレイタケ目

○Fomitopsidaceae ツガサルノコシカケ科

- Fibroporia radiculosa フィブロポリア・ラディキュローサ (ダイダイヤワツツアナタケ[仮]) [FB-48493]
 - Daedalea dickinsii ホウロクタケ
 - Piptoporellus soloniensis シロカイメンタケ
- Incrustoporiaceae インクラストポリア科
- Tyromyces chioneus オシロイタケ
- Irpicaceae ウ斯巴タケ科
- Trametopsis cervina ミノタケ
- Meruliaceae シワタケ科

- Climacodon pulcherrimus アセハリタケ[FB-48491]

- Hydnophlebia chrysorhiza ヒイロハリタケ [FB-48494]

○Phanerochaetaceae マクカワタケ科

- Rhizochaete radicata キヒモカワタケモドキ [FB-48492]

○Polyporaceae タマチョレイタケ科

- Cerioporus varius キアシグロタケ
- Cerioporus sp.アミヒラタケ属
- Daedaleopsis tricolor チャカイガラタケ
- Lenzites betulinu カイガラタケ
- Lenzites styracinus エゴノキタケ
- Microporus affinis ウチワタケ
- Trametes coccinea ヒイロタケ
- Trametes elegans チリメンタケ
- Trametes ochracea カワラタケモドキ
- Trametes orientalis クジラタケ[FB-48507]
- Trametes versicolor カワラタケ
- Trametes vespacea オオミダレアマタケ[FB-48490]
- Truncospora ochroleuca ウズラタケ

◆Hymenochaetales タバコウロコタケ目

○Hymenochaetaceae タバコウロコタケ科

- Fuscoporia gilva ネンドタケ
- Fuscoporia setifera ネンドタケモドキ
- Hymenochaete cyclolamellata ワヒダタケ
- Hymenochaete xerantica ダイダイタケ
- Trichaptum biforme ハカワラタケ

◆Trechisporales トレキスポラ目

○Hydnodontaceae ヒドドン科

- Trechispora sp.トレキスポラ属 (修正: ヒモツキコメバタケと同定されていたもの) [FB-48504]
- Tubulicium curvisporum トウブリシウム・カーヴィスポラム (アセビコウヤクタケ)

◆Gomphales ラッパタケ目

○Clavariadelphaceae スリコギタケ科

- Clavariadelphus ligula コスリコギタケ
- Gomphaceae ラッパタケ科
- Phaeoclavulina sp.フェオクラブリナ属
 - Ramaria spp.ホウキタケ属
 - Turbinellus floccosus ウスタケ

・Turbinellus sp.ウスタケ属（オレンジ色を欠き内側にトゲがあるもの）

◆Phallales スッポンタケ目

○Phallaceae スッポンタケ科

・Mutinus sp.キツネノロウソク属[FB-48501]

◆Geastrales ヒメツチグリ目

○Geastraceae ヒメツチグリ科

・Geastrum sp.ヒメツチグリ属

◆Auriculariales キクラゲ目

○Auriculariaceae キクラゲ科

・Auricularia polytricha アラゲキクラゲ

◆Cantharellales アンズタケ目

○Hydnaceae アンズタケ科

・Cantharellus sp.アンズタケ属

・Craterellus lutescens トキイロラッパタケ[FB-48496]

・Craterellus tubaeformis ミキイロウスタケ

◆Tremellales シロキクラゲ目

○Tremellaceae シロキクラゲ科

・Phaeotremella foliacea ハナビラニカワタケ

・Tremella sp.シロキクラゲ属

●子囊菌類

◆Helotiales ビョウタケ目

○Chlorociboriaceae ロクショウグサレキン科

・Chlorociboria sp.ロクショウグサレキン属

○Helotiaceae ビョウタケ科

・Dicephalospora rufocornea ニセキンカクアカビョウタケ

◆Leotiales ズキンタケ目

※ 目録の作成にあたっては、中島淳志さんによって inaturalist へ登録された目録

(https://www.inaturalist.org/observations?q=Toyofusa202410&search_on=tags) , 及び

『Toyofusa202410.xlsx』(中島淳志さん作成, 「ちば千年の森をつくる会」へ 2024 年 10 月 17 日に配信されたもの)

を元にしたものです。詳しいデータや採集種の画像はウェブサイトを是非参照ください。目録の属名のみ表示はその属の菌が採集されたことを示します。学名等, 元になったデータと若干異なる場合がありますが, 元の目録作成者(大菌輪

<https://mycoscouter.coolblog.jp/daikinrin/>) と, 本目録作成者使用のデータベース

(<https://www.indexfungorum.org/names/names.asp>) の違いによるものです。元の目録にあった科までの同定の種は省いてしまいました。目録の種の配列は, 担子菌類, 子囊菌類, 変形菌類の順に。各分類群の目はなるべく自然な大系の順に, また科, 属の順はアルファベット順としました。千葉県立中央博物館 (CBM) に保存した標本は, [] 内に標本番号を表示しました。

・Leotia sp.ズキンタケ属

◆Rhytismatales リテイスマ目

○Rhytismataceae リテイスマ科

・Coccomyces sp.ココミケス属

◆Pezizales チャワンタケ目

○Chorioactidaceae キリノミタケ科

・Trichaleurina tenuispora オオゴムタケ (不完全世代 Kumarasamuna-like anamorph)

○Sarcoscyphaceae ベニチャワンタケ科

・Sarcoscypha sp.ベニチャワンタケ属

◆Hypocreales ニクザキン目

○Hypocreaceae ボタンタケ科

・Hypomyces ヒポミケス属 (カワラタケに寄生)

◆Boliniales ボリニア目

○Boliniaceae ボリニア科

・Camarops polysperma クロコバンタケ

◆Xylariales クロサイワイタケ目

○Graphostromataceae グラフォストロマ科

・Biscogniauxia sp.クロイタタケ属

○Hypoxylaceae アカコブタケ科

・Annulohypoxylon truncatum クロコブタケ

・Hypoxylon sp.アカコブタケ属

●変形菌類

◆Physarales モジホコリ目

○Physaraceae モジホコリ科

・ススホコリ *Fuligo septica*